

時給900円から
1億円プレイヤーになった私の

億を稼ぐ 勉強法

小林正弥
Masaya Kobayashi

本を読んで
貧乏になる人、
金持ちになる人

たった1日で商売偏差値を10上げる方法

はじめに

28歳の時、僕は業務委託の仕事がなくなり、一時的に日雇いのバイトをしていました。交通費なし、時給900円のラーメン屋の皿洗いです。

なんとか現状を打破しようと、ビジネス書や自己啓発書を読み漁りました。ビジネスパーソン向けの勉強会にも参加しました。けれども、書籍代と読書時間を消費するだけで、一向に収入は増えませんでした。

本を読んでいる間はすべてフィクション。一時的な高揚感も、本を閉じれば冷めてしまう。スキルやノウハウを学んでも、「スキル倒れ」「ノウハウコレクター」になってしまい、一向に結果が出せません。勉強に熱くなっても、僕の財布が厚くなることはありませんでした。

学生時代はそれなりに得意だったお勉強がまったく通用せず、年下にどんどん追い抜かれていく。成功者の本やニュースを見るたびに、「お金がすべてじゃない」と目を背け、自己正当化された、小さな幸せの殻に引きこもる自分がなんと

も惨めでした。こんなに勉強しているのに、なんで僕の稼ぎは増えないんだ!?

バイトと自宅の往復以外、すべての交流を絶っていた引きこもりのある日、立場をわきまえず、ある経営者の勉強会に参加しました。自分の湿った現状を伝え、1人の社長にこのように言われたのです。

「ここは君のような子供が来る場所じゃない。一生ママの乳でも吸っていなさい」

ママの乳とはアルバイトの給料のことです。その場に一定時間いるだけで給料がもらえることを、母乳を吸う子供のように搾取されたのです。

あの時の悔しさ、情けなさ、惨めさは、今でもどう言葉にしてよいかわかりません。この文章を打つキーボードを壊してしまうような強い憤りを覚えました。それは、僕の状況をうすら笑う社長に対するものではありません。湿った自分に腹が立って仕方がなかったのです。

社長の一言で、安売り人生のどツボにハマっていることに直面した僕は、とにかくこのくそつたれな現実を変えることを決意。すぐさま口から出たのは、

「どうしても月100万稼ぎたいんです。社長、教えてください」

そこから社長の自宅に定期的に勉強に行きました。

教わったことは、直接的な金儲けではなく「勉強法」。勉強法とはいえ、従来の学力偏差値を高めるような、暗記力や論理的思考力ではありません。顧客と出会い、顧客に価値を与え、報酬を無限に伸ばしていく商売偏差値が上がる勉強法。億万長者の社長から「学びを稼ぎに変える勉強法」を教えていただきました。

この社長はいわゆる学歴はない、たたき上げの人でしたが、圧倒的に勉強熱心な方でした。天性のビジネスの才能かと思っていましたが、人には見せない裏で、ものすごい勉強をしていたのです。しかし、以前の僕とは勉強のベクトルが異なりました。後ほど詳しく解説していきます。

結果的に、1ヶ月で月210万の報酬が1年先まで確定し、それ以外の報酬も含めると年間3000万くらいになりました。その後、雪だるま式に報酬が膨らんでいき、数年後には1億円以上の報酬を受け取れるようになったのです。

現在は、一緒に学ぶ仲間、働く仲間に囲まれて、本当に素晴らしい人生を生き

ています。すべては、億万長者の社長から授かった「億を稼ぐ勉強法」を実践しておかげです。

当時、辛辣なことを言ってくれた社長や先輩にも感謝を伝えることができませんでした。あの勉強会で、僕の間時間の流れは、成功した未来から流れ始めました。「絶対にここまで来いよ。待っているからな」という先輩からの激励を受け取り、約束を果たすことができました。

本書のテーマは、「億を稼ぐ勉強法」です。精神論でも、特定の個人の成功事例でもありません。再現性のある稼ぐ勉強メソッド。すでにこの勉強メソッドで、何十人もの高収益な社長が生まれています。

世の中は、シェアの時代、お金がなくても生きていける時代、だと言われます。本当にそうでしょうか？ シェアというのは、相互に自立したもの同士の間だけで長期的に成立するものだと僕は考えています。また、お金そのものは目的ではありません。稼ぐ力は、世の中に価値を生み出し、自分と周りを幸せに豊かにしてくれます。稼ぐことで、素晴らしい出会いも広がっていきます。

拙著『自分を最高値で売る方法』は、「自分を安売りするな！ 最高値でいこう！」という個人から始める「働き方革命」がテーマでした。副業解禁の流れもあり、全国、全世界の読者の方から、熱心なメッセージをいただきました。

今回の『億を稼ぐ勉強法』は「学力偏差値だけでなく、商売偏差値が上がる勉強をしよう！」という「勉強法革命」がテーマです。億を稼ぐ勉強法は、自分の無形資本（パーソナルキャピタル）に投資し、知恵や信頼をお金に換えていく実学。小手先の稼ぐテクニクではありませんが、毎年僕たちの報酬は上がり続けています。一度身につけたら会社を辞めても、転職しても無くならないし、誰にも奪えません。最強のライフスキル、ビジネススキルと言えます。無形資本は、お金と違ってシェアしてもなくなりません。みんなが豊かになります。そういうこともあり、この本を書きました。

巻末には、僕を含めて4名の「億を稼ぐ人の事例」が掲載されています。全員、学ぶことで人生を変え、報酬を伸ばしていった人たちです。

それでは今から「億を稼ぐ勉強法」を始めましょう！

億を稼ぐ勉強法 目次

はじめに

002

Chapter 0

凡人でも、お金と時間の自由は
実現できる

「知識メタボ」になっていませんか？

016

世界一周しながら1億円プレイヤーになることを

妻と約束

023

| | | |
|-------------------------|-------|---|
| 金持ちとは商売偏差値を高め、 | | 0 |
| 貧乏人は学力偏差値を高める | | 2 |
| 凡人でも、ビジネスなら1億円プレイヤーになれる | | 3 |
| 大きな結果にコミットすると、才能が開花する | | 3 |
| | | 7 |

Chapter 1

億を稼ぐための

6つの学習キーワード

| | | |
|----------------|-------|---|
| 6つの学習キーワードが、 | | 0 |
| あなたを学んで富む状態にする | | 4 |
| ① カスタマーサクセス | | 3 |
| ② 反転学習モデル | | 5 |

| | | |
|---|----------------|-----|
| ③ | 成功ノート | 048 |
| ④ | ひとりPDCA会議 | 053 |
| ⑤ | メンターによるフィードバック | 055 |
| ⑥ | 学びと成長のコミュニティ | 061 |

Chapter 2

「決断」

1億円プレイヤーになると決める

| | |
|------------------------------|-----|
| 年間400人のビジネスパーソンとの個別面談でわかったこと | 066 |
| さあ、人生の注文書を書こう！ | 072 |

Chapter 3

「否定」

現状を強烈に否定する

| | |
|--------------------------|-----|
| 強烈な自己否定は自分を変える第一歩 | 076 |
| 嫌いな自分の葬式をあげよう | 078 |
| あなたが1億円プレイヤーになっていない11の理由 | 081 |
| 理由1 本気で決めていない | 082 |
| 理由2 手本（ロールモデル）がない | 086 |
| 理由3 仕事が好きじゃない | 090 |

| | | | | | |
|------|---------------------------------|-------|---|---|---|
| 理由4 | 自分のことばかり考えている | | 0 | 9 | 2 |
| 理由5 | 仕事の賞味期限を知らない | | 0 | 9 | 7 |
| 理由6 | お金のことばかり考えている | | 0 | 9 | 9 |
| 理由7 | 誰かに遠慮している | | 1 | 0 | 1 |
| 理由8 | 1億円プレイヤーとしての セルフイメージを確立していない | | 1 | 0 | 4 |
| 理由9 | プロとしてのマインドセットを確立していない | | 1 | 0 | 6 |
| 理由10 | エネルギーが分散している | | 1 | 1 | 5 |
| 理由11 | 学びて富む仕組みを作っていない | | 1 | 1 | 7 |

Chapter 4

1億円の価値を生む

「成功ノート」をつくる

- あなたは何をお金に換えていますか？ 1 2 0
- 「目に見えない資産」がお金を生み出す 1 2 4
- 「成功ノート」は無形資産を増やすポータルサイト 1 2 9
- 億を稼ぐ4つの勉強戦略 1 3 6
- インプット&アウトプットを加速する 1 5 3
- 1日1分メルマガ勉強法 1 5 3

Chapter 5

稼ぐ筋トレ！

4つの学習サイクル

結果が出る学習の仕組み

158

稼ぐ筋トレ！学習の4ステップ

163

Chapter 6

1億円プレイヤーになる キャリア戦略

あなたのキャリア戦略に「教育化」

184

「教育化」で1億円プレイヤーになる
6つのキャリア戦略

190

Chapter 7

億を稼ぐ勉強法で、

1億円プレイヤーになった人たち

1億円プレイヤーを目指すなら、幸せに逃げるな

206

「脳内成功」を描くための4つの事例

208

おわりに

219

Chapter

0

凡人でも、
お金と時間の
自由は
実現できる



「知識メタボ」に なっていないませんか？

インターネットのおかげで、誰もが簡単に知識を得ることができるようになりました。わからないことは検索すれば何でも情報が出てきます。学校の暗記テストでスマホの持ち込みが可能なら、誰もが100点満点です。

テストの点数が良ければ、学力偏差値は上がります。それで僕たちは本当に優秀になったのでしょうか？

ここで、ダイエットオタクの太った男性の話をします。彼は、様々なダイエット方法を知っています。果物ダイエット、糖質ダイエット、瞑想ダイエット、ヨガダイエット、筋トレダイエット……。

しかし、彼が実際に痩せることはありませんでした。彼はダイエットに関して、

普通の人の何倍もの知識を持っています。彼はダイエットにおいて優秀でしょうか？

僕たちが持っている知識量は、一昔前の人たちの何倍、何十倍にもなりましたが、目の前の現実を変える、という「結果」においては、何ら変わりがない、むしろ結果を出しにくくなっているかもしれません。

なぜそう言えるのか？ ダイエットオタクの太った男性とは、昔の僕自身。さらには、ダイエットに限らず、「お金」「ビジネス」「人間関係」「健康」あらゆる分野において、知っているけど、できない状態。

つまり、「知識メタボ」の状態が続きました。

現在は、標準体型を5年以上キープしており、自分で体型をコントロールできるようにになりましたが、当時は、どうしたら痩せられるのか、さっぱりわからなかったのです。一部の天才的な人達は、簡単に結果を出していきます。あなたの周りにも、そういった天才がいませんか？

僕自身、天才的な人に憧れ、嫉妬し、絶望してきました。不安を感じては本を買い、また本を買い、知識は増えるけど、現実が変わらなかつたのです。一方で、お金と時間は虚しく消費されていきました。

けれども、勉強してもうまくいかない凡人の僕が、人生を変えることができたのです。

本書のテーマは、「億を稼ぐ勉強法」。以前の僕のように、勉強しているけど、お金と時間を消費してしまっている、そんな問題を感じている方のために書きました。

本書を読んでくださっているあなたは、きっと勉強熱心なはず。けれども、「勉強しているけど、収入が増えない」「仕事がうまくいかない」と感じているかもしれません。いよいよ本書をきっかけに、「学びて、富む」善循環のスパイラルに入っていくみましょう。僕やクライアントのみなさんも、本書の手法で、お金と時間を消費する人生から脱却し、お金と時間の自由を手に入れました。しかも、3ヶ

月から半年といった圧倒的短期間で。

本書の内容は、たたき上げの億万長者から教わった勉強法。「お前は学校の勉強は多少できたかもしれないが、商売偏差値は30以下だ！」の一言から、教えを請い、商売偏差値が上がる勉強法を実践。社長専門のビジネス教育者として、執筆活動や講座運営、コンサルティングを行っていますが、凡人の僕でも、年間の報酬が1億円を超えるようになったのです。しかも、妻と約束した世界一周旅行に行く時間的自由も手に入れました。

億万長者に教わった、億を稼ぐ勉強法、通称、億勉（オクベン）を始めれば、あなたも、学べば、学ぶほどお金が入ってきます。

● 情報を消費する人、情報をお金に換える人

インターネットやスマホのおかげで、情報が無料で手に入るようになりました。無料で動画も見られるし、ゲームだって楽しめます。一方で、「タダほど高いものはない」という言葉を聞いたことはありませんか？

あなたがYouTubeを見ている時、メディアの広告収入のために「タダで働いている」という見方もできます。YouTubeだけではありません。あらゆるメディアがそのようなビジネスモデルになっています。

この話を友人にしたら、「俺は1日3時間、TwitterやYouTubeを見てる。つてことは、3時間タダ働きしてたつてことか！」と衝撃を受けていました。彼の場合、1日3時間、月間90時間、年間1000時間以上、メディアのためにタダ働きをしている、と考えることもできるのです。

彼のように「タダ働きしている」と気づいたら、メディアとの向き合い方も変わってくるかもしれません。ちなみに、YouTubeは一度動画を作ったら、視聴数に応じてお金が振り込まれます。あなたは気づかないうちにYouTubeerのためにタダ働きをしているのです。情報を消費するだけだと、お金と時間は無くなつていきます。受動的にただ情報を消費するのか、主体的に情報を活用するのか、人生は全く変わっていきます。

このように、世の中には、情報を消費する人と、情報をお金に換える人がいます。情報を収集し、新しい価値を生産し、提供することができれば、情報をお金に換える人になれるのです。本書では、学べば学ぶほど、お金と時間から自由になる仕組みを提案します。

● あなたの読書は、投資か逃避か

「目的を明確にしてから、本を読みましよう」という読書術を聞いたことがあるかもしれません。実用書の場合、読書の目的は、主に2つに分かれます。それが、「投資」と「逃避」。これは自分の心に聞けばわかります。

「今の自分を変えたいけど、本気で変える覚悟はまだない。そんな自分を認めて欲しい。もしくは、ラクな方法があれば知りたい」

こういった心構えで本を開けば、それは「逃避」と言えるでしょう。当然、具体的な問題解決が書かれている本よりは、なんとなく耳触りのよい、自分を承認し

てくれる本を選ぶはず。もちろん、心が疲れている時に、こういった本は支えになります。

一方で、「投資」とはどんな読書でしょうか？ それは具体的な行動変容が伴う読書です。なぜなら、読書が「自己投資」となるには、読書に費やしたお金と時間よりも多くのリターンを得ることが前提だからです。そのためには、具体的な行動変容によって、自分を変え、現実を変えていく必要があります。

例えば、起業の本を読んで、何も行動しないのであれば、本に費やしたお金と時間は、一言でいうと無駄になります。それくらいの覚悟をもって本と向き合うなら、著者が人生をかけて掴んだ知恵を、あなたも手に入れることができるでしょう。それが、著者にとって何よりの喜びにもなり、本を通じた知の交流が初めて起きます。

僕自身、「知識メタボ」だった過去は、「逃避」としての読書をしてきました。あの時を境に、「投資」としての読書をスタートし、人生が変わっていったのです。



世界一周しながら1億円 プレイヤーになることを 妻と約束

本書では、「決める」ことの大切さが何度も出てきます。なぜなら、本気で決めたことは実現するからです。僕自身、「決める」ことで人生が拓かれた1人です。ここで、僕の個人的なエピソードを1つお話しします。本書を書くちょうど1年前に、僕は妻とある約束をしました。

「世界一周しながら、1億円プレイヤーになる」

という約束です。当時、僕たちは結婚に向けて同棲をスタートしたところでした。ある日、お気に入りのカフェに出かけました。

「何でも叶うとしたら、何がしたい？」

と気軽な会話から始まりました。

妻は、「世界一周したい！」僕は「ビジネスで1億円プレイヤーになりたい！」と話していました。何気ない会話でしたが、僕に人生を変える勉強法を教えてくださいました。師の言葉が出てきたのです。

「決めた未来は実現する！」

僕たちは、2人の夢を同時に叶えることを「決めた」のです。

その日からびったり1年後に、僕たちはヨーロッパを周遊。それまでに、東南アジア（マレーシア・インドネシア・シンガポール）、中国、南米（ペルー・ブラジル・アルゼンチン）、アメリカなどを周り、半年間で13カ国18都市を周りました。旅を日常にするため、ずっと旅行に行くのではなく、毎月2週間は海外旅行、2週間は日本で仕事をする、という生活が実現できたのです。

もちろん、1億円プレイヤーになるという夢も、決めてから半年で達成しました。その間に、1冊目の著書『自分を最高値で売る方法』が出版され、全国の読者さんから「おかげさまで起業できました」「安売りせずに、自分を高く売ることができました」と喜びの声をいただいています。

現在は、執筆活動や講座運営、コンサルティングで年間1億円以上の報酬をいただいています。また、半年間、世界中でハネムーン動画を撮影し、結婚式でお披露目しました。結婚式でこの動画が流れることまで、1年前にイメージしていたのですが、会場の雰囲気、集まってくれた友人・知人の笑顔すべてが自分のイ

メージ通りに実現していました。一年前に家族で「決めた未来」が実現したのです。僕にとって人生とは、自己実現を追求し、共感する人と出会うことです。だから、自分のビジネスとプライベートの活動を公式サイトにて掲載しています。

本書のテーマは「億を稼ぐ勉強法」ですが、その証明として、僕自身が、世界一周しながら、1億円プレイヤーになるまでのプロセスも書いています。もともと、1億円プレイヤーになったら、そのプロセスを本にしたいと思っていました。というより、僕の目標達成法は、1億円プレイヤーになる前から、1億円プレイヤーになる「成功ノート」を作成する、というやり方なのです。なので、自分が達成できなかったら、この「成功ノート」はお蔵入りでしたが、達成できたので、今こうしてあなたにシェアしています。



金持ちとは商売偏差値を 高め、貧乏人は 学力偏差値を高める

本書は、仕事で結果を出し、収入と資産を増やしたい読者のための勉強法です。学校で優秀な成績を収めた人が、必ずしも社会で活躍できるわけではありません。今、頭に思い浮かんだ、あの人のことです！

学力偏差値と商売偏差値は、大きく異なります。学力偏差値を基準にした勉強は、知識量を増やすことが主なので、これだけではお金になりません。商売偏差値を基準にした勉強は、顧客に価値を与えることが中心となります。なぜなら、あ

あなたの会社の売上、あなたの報酬は、すべて顧客によってもたらされるからです。学校の勉強の延長線上でやっている、知識量を増やすことが成長だと勘違いして、「知識太り」「知識メタボ」になってしまっているのです。知識偏重の勉強は、お金と時間を消費するばかりです。顧客に価値を与えることが成長だと捉え直し、稼ぐ筋肉のつけ方を身につけていただくのが本書の目的です。

× 学力偏差値…知識を増やすこと≡成長(知識メタボ)

←

○ 商売偏差値…顧客に価値を与えること≡成長(稼ぐ筋肉質)

● うんちくばかり語って、行動しないあの人

あなたの周りで、本やセミナーで学んでいる割に、結果が伴わない人はいるでしょうか？ 見かけたら、「知識メタボですよ」と愛を持って伝えてあげましょう。本人は過去の勉強法を引きずっており、知識だけで何かが解決できると思っているかもしれませんが、あなたが学生なら、学校のテストの点数が高ければ、仕

事でもいい点が取れると思っっているかもしれませんが。それは大いなる誤解です。

学力偏差値は、すでにある知識や情報を、素早く、間違えずに回答する力。つまり、暗記力や論理的思考力です。暗記力なら Google で検索すればいいし、単純計算は電卓にすら勝ち目がありません。論理的思考力もビッグデータで機械学習する AI（人工知能）には勝ち目がない。学生時代に優秀だと評価された能力は、社会に出たら価値を失ってしまうのです。

多くの資格も同様です。資格化された仕事は標準化された仕事。土業のような標準化された知識活動は、AI（人工知能）に急速に置き換わっています。ビジネスの世界は、学歴や資格よりも、商売偏差値（年収偏差値）の方が、その人の経済価値を正確に表しています。これからは、学力偏差値ではなく、商売偏差値で勝負していきましょう！

僕は「勉強」より「学習」という言葉の方が好きです。「勉強」とは、人から教わり、知識を増やす受動的な印象が強い。一方、「学習」とは、得たい結果に向かっ

て、実践し、習得し、主体的に現実を変えていくもの、という印象です。学力偏差値を上げるなら勉強だけでもよいですが、商売偏差値を上げるなら、実践の伴う学習が大切です。

● 知識の無料化

セミナー講師やビジネス著者から、売上が年々下がってきている、という相談を受けます。売上減少の原因は大きく2つあります。

1つ目の原因は、インターネットによって知識や情報の非対称性がなくなり、知識にお金を払う人が減ったことです。例えば、プログラミングや語学の勉強方法を知りたければ、YouTubeやブログで知ることができます。

2つ目の理由は、そもそも知識を知ったところで、現実は変わらない、とみんなが気づいたからです。ダイエットの知識だけ増えても、「知識メタボ」になるだけで、実際に痩せることはないわけです。

ヒット作を連発する編集者さんに聞いたところ、本に関しても同様で、最近人気の書籍は、「読者が具体的に行動できる本」だそうです。読者のメリットが明確

で、何を、どのようにすれば、実際にメリットが得られるのか、が書かれている本が売れているそうです。

セミナー講師も、ただ同じ話を流暢に話す人は無料化し、受講生の思考と行動を変え、結果を出す支援ができる講師には人とお金が集まっています。スポーツジムでも、場所貸しのところは値段が下がっていますし、スマホのアプリで自宅をジム化する人も増えています。一方で、結果コミット型のジムは、何十万と高額のコピーでも人が集まっています。

本の読者も、セミナーの受講生も、語学スクールの生徒も、ジムの会員も、みんな知識だけでなく「結果」を求め、「結果」には高値を払うのです。

● 知識提供の研修・セミナーに行くのは時間の無駄

僕は安易に研修やセミナーに向くのをおすすしません。特に、知識提供が中心のセミナーなら尚更です。知識の習得は、あなたの都合のいい時に、本やお

オンラインで自学自習できるからです。1億円プレイヤーを目指そうと思ったら、時間に対する意識を極限まで高める必要があります。安易にセミナーに行ってしまうのは、「会場に行けばなんとかなる」という心の弱さを反映しているとも言えますし、移動時間も含めるとかなりもったいないのです。

後ほど詳しくお伝えしますが、直接、講師に会う目的は、知識を得るためではなく、ご自身の課題解決に向けたフィードバックやグループディスカッションを目的に行くべきです。最近では、オンライン会議システムを使ってコーチングやコンサルティングをしてくれるところも増えました。従来の学校教育に慣れていると、教室に行くことが勉強だと思ってしまうがちです。一方的な知識の習得なら、自分の都合で繰り返し学べるオンライン講座の方がよほど学習効率が高いと言えます。

ただし、自ら情報を取りに行く主体性が必要です。自分の報酬を伸ばし続けていく人は、課題に合わせて縦横無尽に必要な知識や情報を手に入れています。



凡人でも、ビジネスなら 1億円プレイヤーになれる

本書では、あなたに「経済的成功」という果実を手にしたただくための勉強法をお伝えします。「経済的成功」の1つの指標が「1億円プレイヤー」です。スポーツの世界で、「1億円プレイヤー」は一流の証と言えるかもしれませんが。あなたの周りで、ビジネスの世界で1億円プレイヤーはいるでしょうか？

凡人でも、ビジネスの世界なら1億円プレイヤーになれる確率が高いと考えています。プロスポーツの世界で「優勝賞金1億円」のトーナメントがあったとします。この賞金1億円を手にするのは、もちろん優勝者のたった1人。2位以下の賞金はぐっと下がっていきます。一方、ビジネスなら、順位によって報酬が決まるわけではありません。顧客に提供する価値に対して報酬が決まるので、自分

の経済価値を高める方法を実践すれば、誰もが1億円プレイヤーを目指すことができるのです。

実際、凡人の僕でも本書の勉強法を実践し、自分の経済価値を高めたことで、ゼロから数年で1億円プレイヤーになりました。

ゼロからと言いましたが、当時の僕は時給900円の日雇いバイトをやっていたのです。新卒で入社した会社を勢いよく出たものの、業務委託の仕事を転々とするばかりで、最後は仕事がなくなり、日雇いのバイトをやらざるを得ない状況でした。当時、28才、周りは結婚ラッシュで、ご祝儀のお金も工面できないほどの状況でした。

その時に出会った億万長者に「億を稼ぐ勉強法」を教わり、経済的自立へと踏み出したのです。

● 日本人に向いている「モノマネ成功法則」

日本人はモノマネが得意です。

モノマネという言葉にはネガティブなニュアンスを感じるかもしれませんが、ここではそういった意図はありません。日本人は、書道のように、手本を真似て、技を磨いていくのが得意です。料理でも、和洋中なんでも一流の味が楽しめるように、他のモノマネをして、改善を加えて、一流に昇華させていくのが得意なのです。戦後の高度経済成長を牽引した松下電器（現パナソニック）も、他社の製品を真似して、安く流通させることを得意としていたので、「マネシタ」と呼ばれていたそうです。

一方で、日本人はゼロからルールを作るような仕事は苦手かもしれません。けれども、日本人はルールを守るのはめっっぽう強い。ならば、成功するルールを定め、得意なモノマネを最大限に活かすことで、ビジネスの世界で1億円プレイヤーは十分に目指せます。僕自身、うまくいっている人から教わり、徹底的に成功

するルールを守り、成功するやり方を真似して、稼ぐ力を磨いてきました。僕の講座の生徒さんでも、短期間で結果を出す人たちは、ルールを守り、上手に僕の技を真似しています。そして、専門分野の掛け算で独自の付加価値を生み出し、人が高値を払っても満足するだけのビジネスを構築し、「1億円プレイヤー」になる人も出てきています。

あなたがシンプルに「1億円プレイヤー」を目指すなら、オリジナルは不要。うまくいっている人から学び、複数の専門性を掛け算して、自分の技を磨いていけばよいのです。



大きな結果にコミット すると、才能が開花する

いよいよ今から「億を稼ぐ勉強法」の具体的な内容に入っていきます。どんな気持ちでしょうか。「やってやるぜ!」と熱くなっているかもしれないし、「自分にはそんな才能はない」と沈んでいるかもしれません。

一番重要なことは、結果にコミットする時に、やり方はわからなくていい、ということなんです。僕はこれまで、40名以上のビジネス成功者と直接対話をしてきました。相続ではなくゼロから自分でビジネスを立ち上げている人たちです。

僕の公式サイトを見ていただければ、動画や音声による対談記事があります。彼らに共通していることは、夢や目標を決めた時に、やり方は知らなかった、とい

うことです。

以前の僕は、やり方がわからない目標を立ててはいけない、くらいに思っていました。その結果、過去の延長線上となる平凡な結果しか出せなかったのです。

凡人の僕の経験からも、大きな結果にコミットする時に、やり方は必要ありません。むしろ、わからないくらいがちょうどいい。やり方は、できる人に教わればいいし、あなたが決めた「結果」を生み出すために必要な「才能」は後から開花していくのです。

僕自身、国語の成績が悪くて理系に進んだ人間です。当然、文章の書き方を学んだことありません。

しかし、こうして本を執筆しています。また、人前で話すのが苦手でしたが、今では、毎月100名以上の方の前で話しています。その結果、1億円プレイヤーになることができました。あなたが大きな結果にコミットすると、隠れていた才能が開花するのです。

心の準備はいいですか？　まずは、この本の空欄に、「私（お名前）は、1億円プレイヤーになります。（日付）」と書いてください。未来の成功した自分と約束するのです。

それでは今から、「億を稼ぐ勉強法」を始めましょう！

億を稼ぐ 勉強法



amazonで購入